

生物多様性を考える

表現科でキャッチコピーづくりにチャレンジ

2013年度、札幌市で行われた「生物多様性」をわかりやすく表現したキャッチコピー募集を受け、自由が丘でも授業の一環として考えてみました。

まずは生徒の誰も聞いたことのない「生物多様性」とは何かを学習。市では以下のように説明しています。『生物多様性』とは、たくさんの生き物がいて、それぞれがつながり合っていることを表す言葉です。私たち人間の暮らしは、水や空気をはじめ、食べ物や木材など生物多様性がもたらす様々な恵みに支えられています。しかし、開発や乱獲、温暖化など私たち人間の影響で、生物多様性は地球規模で失われつつあります。生物多様性を守り、将来にわたりその恵みを受け続けるため、今、取組が必要とされています。」

これを20字以内でわかりやすく表現するのはかなりの難題。生徒たちは、どんなコピーを考えるのか、ペレットストーブや太陽光パネルが身近にあり、農業体験や「地球に生きる科」などで環境について日頃学んでいるだけに、スタッフも興味津々でした。下に紹介したのは生徒とスタッフの応募作品です。

<応募作品紹介>

もう赤ちゃんは生まれてこない そんな地球にNo !

一年間に絶滅する生物の種類が加速度的に増えている事実を学び、それを止めたいたい気持ちを「赤ちゃん」という言葉を使って、危機感を持ってもらえるよう表現しました。

草や木や虫だって 地球に生きるみんなの家族

あまり注目されなかつたり嫌われたりする生き物を含め、地球上のあらゆる生き物が支え合って、わたしたちの普段の生活がなりたっていることを、「家族」という言葉を使って表現しました。

世界中の人間も動植物たちも みんな仲間です

地球の動植物は全て、人間同士と同じように大切な存在であり、支え合わなければならないことを、「仲間」という言葉を使って表現しました。

生物多様性 それはつながり合うこと

生物多様性について学ぶうち、全ての生物がつながり合って生きていることを知り、特に印象深く感じたので、それを他の人にも伝えたいと思いました。

生命いろいろ さっぽろの宝 ちきゅうの宝

たくさんの生物がいること、それらが地球や人間にとてかけがえないことを、「宝」という言葉を使って表現しました。また札幌で生物を守ることが、地球規模の保護につながるよう願いをこめました。



地球を表現した札幌市の生物多様性シンボルマーク